

# 中野ってどんなまち？

地方・外国出身、障害がある、LGBTQ(性的マイノリティ)など、さまざまな特性を持つ方から、中野の良いところや今後の課題を聞きました。



## 1 上京して中野で飲食店を経営「kurumari」店主の上野さん



### 中野との出会い

福岡から上京し、東京で就職。職場の近くで家賃を抑えようと、中野富士見町駅付近に住んだのが中野との出会いでした。中野は落ち着いた雰囲気の程良い住宅地でありながら、ほとんどのものがそろるのが魅力です。

### いい意味で「気にしない」まち

LGBTQの男性2人組が手をつないで来店した時、他のお客さんがその風景に驚くことなく当たり前のように過ごしていました。私自身も、中野で生活している中で、地方出身者だからと疎外されたことは一度もありません。他との違いを「気にしない」くらいの風土がすてきですね。

### 人と人とのつながりが生まれるお店に

「遊べるレストラン」がお店の特長。お客さんの要望を聞き、ボードゲームの相席を提案しています。相席をきっかけに友人ができたり、お付き合いを始めた方も。お店から中野を盛り上げていきたいです。

### 中野の「やさしさ」を体現するお店～上野さん～

昨年度のナカノミライブプロジェクトで作成した「やさしいなかの御朱印さんぽ」マップで協働しました。



▲マップはこちら

## 2 区内在住歴10年以上アメリカ出身のモリスさん



### 寛大で住みやすい、あたたかなまち

LGBTQの当事者として、同性カップルが手をつないで歩いているのを見かけるたびに幸せで胸がいっぱいになります。ほんの少しの愛情すら見せられない場所がまだまだ多いからこそ、中野の寛容さが表れていると思います。

また、都会にもかかわらず小さな町のような雰囲気があるのも中野の魅力。カフェやレストランの店員さんが顔を覚えてくれたり、散歩中に友人に偶然会ったりと、都会らしくないあたたかさを感じます。

### 区の特徴が抱える課題に注力を

自転車レーンに駐車している車が多く、交通に不便を感じることがあります。また、LGBTQの方が多くからこそ、性感染症の即日検査の充実や検査項目の増加、肝・腎機能検査の導入など健康面での支援があるとより良いですね。そして、ジムなどの全ての公共施設に性別を問わず使えるトイレや更衣室があると、多くの区民がより支障なく利用できると思います。

### 外国人の視点で区報に提言～モリスさん～

普段から区報を愛読し、区の情報を得ているというモリスさん。2020年10月5日号のごみの分別特集へ、外国人の視点から意見をいただきました。

## 3 パラクライミング日本代表としてワールドカップに出場した大谷さん



### 明るくやさしい人の多いまち

中野で生まれ育ち、地域の催しや区内の商店街によく行きます。そこで会う人たちはみなさん明るく接しやすい。都心に近く、話題の店が多いのも中野らしさの一つです。

ただ、たまに障害で変形した右手に視線を感じるがあります。いろいろな人がいて当たり前。「大丈夫ですか?」「手伝いましょうか?」の声掛けにあふれたまちになるといいなと思います。

### 障害があるからこそできることを

自動改札機の通過やペットボトルの開閉など左手だけでは不便なことも。こうした障害があるからこそその気付きをみなさんに伝え、改善のきっかけになったらうれしいです。

障害を持つ可能性は誰にでもあります。パラアスリートとして、年齢や障害で悩む方々に夢を与えられるような存在になりたいです。また、イベントを中野で開催し、パラクライミングの魅力を広めたいですね。

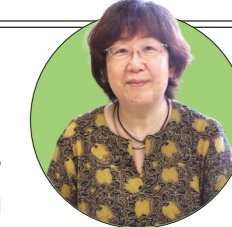
### 障害があっても世界に挑戦～大谷さん～

パラクライミングを始めて5年で日本代表に選ばれた大谷さん。区HP「中野のひと」インタビューにも中野への思いを掲載しています。



▲詳しくはこちら

## 4 パートナーシップ宣誓第1号LGBTQ当事者の大江さん



### さまざまな要素が詰まったまち

中野駅北口の豊富な飲食店やマニア向けのお店、中野駅南口の整然さ。多様な要素が中野にはあります。また、まちで買い物をするだけでたくさんすれ違うほどLGBTQの方が多くいます。当事者同士の情報交換が容易で一人暮らしも安心。「何としても中野に引っ越したい」という友人がいるほど大人気です。

### 性的マイノリティを特集した区報に登場

区報の反響は大きく、この特集を読んだ近所の方が「知らなかったことがいろいろ分かった」「応援しています」と声を掛けてくれました。住民のあたたかさを感じ、うれしくなりました。

### 相談や交流が気軽にできる場を

当事者の居場所づくりやSNSでの相談など、気軽に利用できるサービスが中野にあるとより良いと思います。それらを入り口に、より包括的な支援が受けられたらうれしいです。

### 当事者の方を支援～大江さん～

性的マイノリティの方の相談に依るなど幅広く活動。区報2020年4月20日号の特集でも協力いただきました。



▲掲載号はこちら

### 共通するのは「人のあたたかさ」

インタビューに応じてくれたみなさんが感じる中野の魅力の共通点は「人のあたたかさ」。一方、健康事業など、まだまだ課題もあります。

多様なまちだから人があたたかいのか、あたたかい人が多いから多様なまちになるのか。議論は尽きませんが、「人と人がつながる暮らしやすいまち」

であることは、みなさんが感じていました。

中野の最大の財産は人。誰もが安心して暮らし続けるためには、お互いに違いを認め合うことが大切です。全ての人の人権や生き方、個性や価値観を尊重するまちを目指しましょう。

### イベント

#### 多様性への理解が深まる ダイバーシティフェスタ2022

**内容** 企業や支援団体など約30団体によるダイバーシティ(多様性)啓発イベント ☆明治大学横田ゼミナール主催

**日時** 11月13日(日)午前10時～午後5時

**会場** 明治大学中野キャンパス(中野4-21-1)

☆公共交通機関をご利用ください

平和・人権・男女共同参画係 / 4階 ☎(3228)8229 FAX(3228)5476

#### 区主催の催しにもご参加を / 中野区人権条例制定記念シンポジウム

区は「中野区人権及び多様性を尊重するまちづくり条例(今年4月施行)」を制定。多様性に関する基調講演やパネルディスカッションを左記催し内で開催します。当日午後3時～5時に、直接会場へ。



▲詳しくはこちら